

科目区分	専門分野	授業科目	地域・在宅看護援助論 I (日常生活援助)
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(15時間)	開講年次	2年次 第1学期
講義概要 メッセージ	病院から暮らしの場へ、生活を重視した在宅ケアが推進されています。日常生活を支える看護技術や在宅療養を支える医療ケアを学びましょう。		
<p>目的：在宅看護を展開するための基本技術や療養生活の継続を継続するための技術を習得する</p> <p>目標：1. 在宅療養者の生活と日常生活の具体的援助方法が考えられる  2. 在宅療養の代表的症状・状態に応じた看護が理解できる  3. 在宅で行われる医療処置の特殊性と具体的支援方法が理解できる</p>			
回	授 業 内 容	授業方法	
1	在宅療養の場 1) 療養の場の環境 2) 療養の場の環境調整	講義	
2	食事の援助 1) 在宅療養での食生活の特徴：脱水予防 2) 胃瘻、経管・経腸栄養 3) 在宅中心静脈栄養法	講義・グループワーク	
3	排泄の援助 1) 在宅での排泄の特徴 2) ストーマ：人工肛門・人工膀胱 3) 尿道カテーテル：留置カテーテル・間欠導尿	講義・グループワーク	
4	移動・移乗の援助 1) 在宅での移動・移乗の特徴 2) 日常生活動作(ADL)、手段的日常生活動作(IADL) 3) 廃用症候群のリスク、予防とケア	講義・演習	
5	清潔の援助 1) 介助入浴方法 2) 簡易浴槽での入浴 3) 療養環境に応じた援助方法	講義・演習	
6	在宅における治療継続の援助 1) 服薬と日常生活管理      2) 在宅自己注射 3) 疼痛管理                      4) 在宅酸素、人工呼吸器 5) 吸引、排痰援助	講義	
7	感染予防の技術 療養者・家族の教育について	講義	
8(45分)	終了試験		
評価方法	筆記試験100点満点 評価基準参照		
テキスト	医学書院：系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤 医学書院：系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実践 <参考図書> 医学書院：系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度[2] 公衆衛生 根拠がわかる在宅看護技術：メディカルフレンド社		
備考	既習関連科目：地域・在宅看護概論、生活援助技術		